

一か月半を過ごして

若葉の緑がいつそう深まり、初夏の訪れを感じる季節となりました。新年度が始まって一か月半が過ぎ、子供たちも新しい学年での生活に少しずつ慣れ、毎日元気に学校生活を送っています。

4月当初は緊張した様子も見られましたが、今では友達と笑顔で話したり、授業で積極的に発表したりする姿が多く見られるようになりました。特に一年生は、上級生に助けられながら学校生活を覚え、一步ずつ成長しています。上級生もまた、優しく声をかけたり、手本を示したりする姿が見られ、たいへん頼もしく感じています。

また、日々の授業の中でも、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら学び合う姿が多く見られるようになってきました。子供たちは、さまざまな経験を通して大きく成長していきます。成功体験だけでなく、失敗や悩みを乗り越える経験も大切にしながら、一人一人が自信をもって学校生活を送ることができるよう、教職員一同力を合わせて支援してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校教育活動への御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。今後とも、子供たちの健やかな成長のため、温かい御支援をよろしくお願いいたします。

夢育て月間

本町は「島で育むきらりと輝くひとづくり」を教育行政の基本理念とし、「未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育」を推進しています。それを受け、早町小学校では毎年5月を「夢育て月間」と位置付けて講演会の実施や子供たち自身の将来の夢について考えさせる学級活動に取り組んでいます。

今年度は、唄者の川畑さおりさんを講師にお招きして、「夢は叶う！と教えてくれた シマ唄」という演題で御講話いただきました。幼少期にシマ唄と出会い、「みんなに自分のシマ唄を届けたい。」という思いを抱き、挫けそうになっても努力し続けた川畑さんのお話に感銘を受けました。きっと子供たちも、努力し続けることの大切さを学んだのではないのでしょうか。川畑さおりさん、心に響く御講話と素敵なシマ唄を届けていただきありがとうございました。

